

### NETIS NEW FACE

## ワンステップガード工法 コンクリート片はく落防止対策工法

登録日 2012.11.1 (登録番号KT-120082-A)

電気化学工業(本社、東京都中央区日本橋室町2-1-1、社長=吉高紳介氏)が開発したワンステップガード工法は、特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂を塗布するコンクリート片はく落防止対策工法。



従来の繊維シートを使ったはく落防止工法は、下地処理後にプライマー処理・下塗り・繊維シート貼り・上塗り・保護塗装と工程数が多く手間と時間が掛かっていた。

ワンステップガード工法は下地処理をした後、直接ワンステップガードをコテやゴムベラを使って塗り込み保護塗装を施すだけなので、簡単に施工でき大幅な工期短縮が図れる。基材に特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂を使用して環境ホルモン物質の放出を防止し、周辺環境への影響を最小限に留めることができる。

問合せ先、電気化学工業・セメント・特混事業部、電話 042 (721) 3651, FAX 042 (721) 3698。

### NETIS NEW FACE

## リポテックスシリーズ コンクリート用膜養生剤

登録日 2012.10.31 (登録番号KT-120081-A)

ライオン(本社、東京都墨田区本所、社長=濱逸夫氏)が開発したリポテックスシリーズは、コンクリート表面に皮膜成分を散布する湿潤養生剤。コンクリート表面に皮膜成分を直接散布することで養生マットのような設置・撤去作業が不要となり、労務費の低減や工程の短縮を図ることができる。



種類は植物系脂肪酸を主成分とした「OS-9000」とアクリル樹脂を主成分とした「C-1000」の2種類。OS-9000は、植物由来の原料を使用しているため生分解性に優れており、周辺環境に影響を与える懸念が無い。少量で効果を発揮するので経済性にも優れている。またC-1000は、浸透性に優れており脱型直後のコンクリート製品やコンクリート構造物壁面、トンネルの二次覆工などのコンクリート湿潤養生に最適。主成分のアクリル樹脂がプライマー効果を発揮するので表面仕上げ材との付着性を阻害することもない。

問合せ先、ライオン・研究開発本部、電話 03 (3616) 4452, FAX 03 (3616) 3128。

## がれき活用間口の拡大を

### がれきコンソ 第2回全体会議開催

震災がれきと産業副産物のアロケーション最適化コンソーシアム(代表=久田真東北大学教授)は12月7日、仙台市のホテルモントレ仙台で第2回全体会議を開催した。

全体会議にはコンソーシアムのメンバーや行政関係者など約140人が参加。会議の冒頭、久田代表が挨拶し「がれきの処理期間は、施設の解体を考えると1年しか残っていない。がれき処理を加速して、がれき有効活用の間口を一層広げることが大事だ。コンソーシアムでは各部会で精力的に様々な形で取り組んでもらっている。今日はその報告を含め行政の関係者を交えた有効な意見交換を期待している」と述べた。全体会議では、「コンクリートがれき有効利用」「がれき焼却残渣有効利用」「津波堆積土砂有効利用」「プレキャストコンクリート製品」「長期安定性評価」の各検討部会が活動状況を報告した。

このうちプレキャストコンクリート製品検討部会(幹事・昭和コンクリート工業)

ングを実施する計画。またセメントメーカーと混和剤メーカー主体の配合WGでは、主灰などがれき副産物を使用した配合(30N程度)の検討と、環境安全形式調査の確認を行う方針を示した。受入WGでは震災がれき・産業副産物の性状や未利用資源の調査を実施する考え。

また、コンクリート製品と関連の深いコンクリートがれき有効利用検討部会(幹事・大林組)は、建設材料やスラグ系材料として盛土、嵩上げ、中詰め、港湾構造物(ブロック・ケーソン)などで利用できる」と説明。今後、発注者を対象に利用可能なコンクリートがれき量やニーズの把握を調査するほか、有効利用技術集を作成しニーズと適用技術のマッチングを図る方針を示した。

この他、地盤工学会タスクフォースで国立環境研究所主任研究員の肴倉宏史氏が、地盤工学会が取りまとめた「焼却主灰再生資材の評価スキーム」の概要について説明を行った。これは災害廃棄物焼却主灰を原料とする再生資材(焼却主灰再生資材)を盛土材・路盤材・海面埋立材料などの地盤材料に使用する場合の要求品質等の考え方を提示したもの。肴倉氏は「いずれの用途についても使用材料の性状のばらつきなどを考慮し、環境安全性、物理的・力学的性質、



全体会議の会場

は、①コンクリートがら・津波堆積土砂・焼却残渣などの震災がれきのうち、再利用方法が決まっていないものの製品化を図る。②震災がれき再利用技術を利用した産業副産物の未利用資源の再利用。③発注官庁へのヒアリングを通じて要望製品の開発、の3点をテーマとして示した。

供給量(発生量)等を確認し、使用目的への適合性を検討した上で利用する必要がある」と指摘した。

### 広島展示ルーム をリニューアル

ユニソン西日本(本社、大阪市中央区平野町三六一、社長=浅岡直人氏)は、7日付で広島支店(広島市安佐南区)に併設する広島展示ルームの屋外展示場をリニューアルオープンした。

同展示場は2005年に開設、展示面積は約100㎡。これまで適時商品の入替えを行ってきたが、市場ニーズが多様化していることを受けて今回初めて全面リニューアルに踏み切った。場内には新たに組積材のプレミオシリーズをはじめ舗装材のベガス、門柱製品のフォルガシリーズなどを展示している。

営業時間は午前9時から午後5時、土・日・祝日は休館。

